



真宗大谷派旭川別院

旭川別院だより

春号

2021

発行所 真宗大谷派 旭川別院

輪番 太田 法生

〒070-0030 旭川市宮下2丁目

TEL.0166-22-2409

FAX.0166-22-2411

■印刷:植平印刷株式会社

■旭川別院ホームページ

<http://potato9.hokkai.net/~betsuin/>

真宗大谷派旭川別院 | 検索

見ていづる①



蘭越町 光福寺住職

金石晃陽

一昨年(二〇一九年)の十二月のある朝の北海道新聞の「卓上四季」に、女優の杉村春子さんの自叙伝の中から春子さんのお母さんの言葉が紹介されていました。春子さんが幼少の頃から、お母さんがいつも話してくれたのは、「あなたはこの世間の人生、どのような生き方であつてもよいけれど、ただ一つ、お天道様にだけは恥じない生き方をしてほしい」という言葉でした。その母の言葉が、今日までの私の歩みを支えてくれました」と。

仏の目・人の目

「蓮如上人御一代記聞書」の中に、「同行同侶の目をはじて、冥慮をおそれず。ただ、冥見をおそろしく存すべきことなり。」という言葉があります。「冥慮」は人の目・世間の目、「冥見」とは、仏の目といってよろしいでしょう。つまり、私たちは、日頃人の目や世間の目ばかりを怖れ、仏の目、仏から見られている私だということを忘れて生きていくのではありませんか、と呼びかけて下さるのです。

子供の頃、聞かされた話に「カボチャ泥棒」の話があつたのを思い出しました。昔、一人の父親が息子を連れて、カボチャ畑にカボチャを盗みに行ったというのです。昼間でしたら、それこそ人の目・世間の目がありますから、夜こそすり出かけていった。でも、誰かが見ていたら大変なので、子供に、「誰か見ていないか、見張り番をしとけ」と言つて、その父親は、大きな袋に、カボチャを盗めるだけ盗んで、いっばい背負つて出てきて、子供に「誰か、見ていなかったか?」「子供は、「見てたよ」「誰が見てた?」「ののさまが、見てたよ」と答えたと言うのです。すると、父親は、畑にもどり、盗んだカボチャを全部置いて、子供と二人とぼとぼと、家路についたという話です。

「誰か、見ていなかったか?」「ののさまが見ていたよ」。そういえば、私たちは、子供の頃、仏を一つの譬えをもって教えられてきました、「ののさま」と。「ののさま」とは、お月さまのことですね。まだ電気がない時代、夜、家に帰ろうと思ったら、外は、真っ暗。でも雲の間から、月の光が差し込んできたら、自分の帰って行く道が見えてきた。

慚愧と歡喜

それと同じように、私たちの人生も、思いがけないことに会つたり、不安の中に投げ出されていると、思案にくだる。「こんなはずではないのに」と思いつきながら、自分では、どうすることもできない、人生途方にくれる、ということがあつたのです。先が見えない、闇夜を生きているようです。しかし、念仏申されるところに、「智慧の光明はかりなし」と親鸞聖人が讃えられた仏まします。そこに、微かであつても、私の歩んでいく道が、見えてきました、という感動が、仏を「ののさま」と呼んだのでしよう。

私が子供の頃、ご門徒のおじいちゃんやおばあちゃんがいとも口にしていた言葉があります。それは「見てござる」「誰が見てござるのか」「仏さまが見てござる」。他の誰かが見ていなくても、「仏さまだけは、見ていて下さる」。今日、「見てござる」という言葉が聞こえなくなりました。その結果、どうなつたかという、人様や世間に見つからなければ何をやってもかまわない。見つかるとは運の悪い者ということになります。それが、現代のいじめの問題、汚職・賄賂・様々のハラスメント・SNSにおける誹謗中傷などになるのではありません。

私たちは、「お天道様に恥じない生き方」という杉村春子さんのお母さんの言葉や「仏さまが見てござる」という

言葉を聞くと、「なるほどそうだ、よい言葉を知った。これからは、この言葉の通りに生きていこう」と単純に、そして安易に考えてしまいがちです。もし、そのように生きていけたら「めでたしめでたし」で済むのでしょうか、そう簡単にはいきません。

先日、あるご門徒の法事で読経の後、杉村春子さんのお母さんや「カボチャ泥棒」のはなしをしたら、四十才ほどの女性が「あーら、恥ずかしい」と言つて、顔を両手でおおわれました。実は、これが真宗門徒の素直な実感なのであります。

昔のご門徒が「仏さまが見ていづる」と同じように口にしていた言葉がもう一つあります。それは「お恥ずかしいわが身だな」「申し訳ないなあ」「あさましいわが身」と。「仏さまが見てござる」、その仏の智慧の光明に照らし出された私自身の姿なのでしよう。

これも又、私の子供の頃、あるおばあちゃんのことです。自坊の報恩講の準備として、男性は山に入りエゾ松の枝を切り落とし、裏葉を取り、仏花を立てるなどお莊嚴をして下さいます。女性はお斎の献立を相談し合い、そして仏具のおみがきをして下さいます。そのおばあちゃんは、いつも仏具をみがきながら自分自身に語りかけるように、「お仏具はみがけばみがくほどピカピカ光る。しかし、ワシの心全く光らん。光らんどころか煩惱いっばいの身だ。その煩惱具足のものこそ必ず救いたい」と誓つて下さったのが阿弥陀様の本願。申し訳ないなあ、勿体ないな。そのこと一つを教えて下さったご開山・親鸞様、その親鸞様の報恩講、そのお仏具を精一杯みがかせて頂きます。ナンマングブ、ナンマングブ」とお念仏されていた姿が、報恩講を迎えるたびによみがえってまいります。

そして、「仏さまが見てござる」にはもう一つの意味があります。それは、次号でお話しをさせて頂きます。

法座・行事案内予定

4月

1日	午後7時	公開学習会	泉山	明光師
7日	午後1時	群萌の会		列座
8日	午後1時	マヤの会		列座
13日	午後1時	初心の集い	輪番	列座
16日	午後1時	同朋の会		列座
17日	午後7時	壮年の集い		列座
18日	午後1時	婦人会(総会)		列座
27日	あゆみ会			
28日	午後1時	定例法座	松澤	正樹師

5月

1日	午後7時	公開学習会	泉山	明光師
7日	午後1時	群萌の会		列座
8日	午後1時	マヤの会		列座
13日	午後1時	初心の集い	輪番	列座
15日	午後7時	壮年の集い		列座
16日	午後1時	同朋の会		列座
18日	午後1時	婦人会		列座
28日	午後1時	定例法座	松澤	正樹師
29・30日	あゆみ会	親鸞誕生会		列座

6月

1日	午後7時	在家報恩講参り		
1日	午後7時	公開学習会	泉山	明光師
7日	午後1時	群萌の会		列座
8日	午後1時	マヤの会		列座
13日	午後1時	初心の集い	輪番	列座
16日	午後1時	同朋の会		列座
18日	午後1時	婦人会		列座
19日	午後7時	壮年の集い		列座
28日	午後1時	定例法座	松澤	正樹師
未定日	あゆみ会			列座

7月

1日	午後10時	午後1時	永代経会	輪番・列座
1日	午後7時	公開学習会	泉山	明光師
8日	午後6時	公開講演会	佐野	明弘師
9日	午前7時	暁天講座	佐野	明弘師
13日	午後1時	初心の集い	輪番	列座
16日	午後1時	同朋の会		列座
17日	午後7時	壮年の集い		列座
18日	午後1時	婦人会		列座
未定日	あゆみ会			

輪番感話④

東京オリンピック・パラリンピックス競技大会組織委員会前会長の森喜朗氏が不適切な発言によって辞任された。以前にも問題となる発言があつたが、今度ばかりはオリンピックを目前にして性差別となかなかねないことに、世界中に反響を及ぼしてしまった。マスコミは連日報道し、ワイドショーには評論家やコメンテーターが氏の発言と態度に揶揄し非難する。その話題に多くの人が興味を持つからこそテレビの視聴率が成り立っている。しかし何かが違う、違和感を抱く、何だろう？そこに自分が完全に抜け

落ちてはいないだろうか。私は差別などしないという評論家になつて裁いている。教壇時代、仲野良俊先生は、「聖典と新聞の狭間で学ぶ」と云われたことを思い出した。聖典とはもちろん仏語であり、宗祖のお言葉である。新聞とは、国の政治、経済、事件、事故である。教壇に世間の事象を通して自己を見ていく。「まなこ」が欠落していたのである。人を切り裁き続けてきたことは、その根底にいつも差別性をはらみ、家庭や仲間、組織の人間関係、そして酒席の場に、そこに居ない人

の批判と裁きをしてきたのではなからうか。真宗の教えに聞くとは、そういう自分を棚上げさせない厳しさと、悲しさがあるように思う。ところで、時代背景、思想、風俗は全く違うが、ご門徒さんの月参りにて、蓮如上人の御文五帖目を繰り読みさせていただくとき、後ろにお参りをされているご門徒さんに、「第十四通」上臈下主の御文を、こ

(太田 法生)

永代経は「永代読経」の略で、子や孫たち、次の世代の多くの人々に永代に渡ってお経が読み続けられ、仏さまの教えが伝わっていくことを願うものです。私に先だって人生を歩まれ、一生を終えていかれた大切な方々の死をご縁として、私自身の在り方をあらためて見つめ直していく尊いご縁です。

永代経法要のご案内

日時 七月一日～七月十日迄 午後一時～
場所 本堂



期 日 令和三年度(年九回)一月、八月、十一月はお休みです
場 所 旭川別院二階広間
講 師 島山明光師(真宗大谷派真宗寺前住職)

学習内容 歎異抄『真宗聖典』(東本願寺出版部)をお持ちの方はご持参ください。
会 費 五〇〇円

※コロナウイルス感染症防止等のため、やむを得ず中止する場合がございます。詳細は別院までご連絡ください。

公開学習会のご案内

昨年に引き続き四月から真宗寺・島山明光先生にご出向いただき、一人でも多くの方々と共に学びを深め、聴聞していただくという願いで公開学習会を開講します。参加条件などは一切ありませんので、是非この機会にご参加下さい。

公開講演会。暁天講座のご案内

●公開講演会
七月八日(土) 十八時～二十時頃迄 於・大谷ホール
●暁天講座
七月九日(金) 七時～八時二十分頃迄 於・本堂
※パンと牛乳が出ます。

皆様のご聴聞、お待ちしております。



講師 石川泉光蘭坊
佐野明弘師



公開講演会



暁天講座

旭川別院大谷婦人会総会の御案内

日時 四月十八日(日) 午後一時～三時
内容 総会・法話(輪番)
会場 大谷ホール一階

※お茶・お菓子を用意しています。
※コロナの影響で変更等がある場合は別院ロビーに掲示します。
※旭川別院檀家の女性は婦人会員ですので、ぜひ御参加お待ちしております。

しんらん誕生会のお知らせ

開催三年目を迎える親鸞誕生会ですが、本年はコロナウイルス感染予防対策を留意した上で盛大に開催する予定です。

たくさんさんの催しものや、北海道ではあまり見る機会のないエイサー、豪華景品の当たるチャンスもあります。人として生まれたこと、そして大切な誰かが生まれてきてくれたことに感謝できる日として共にいのちの喜びをお祝いしましょう。
お誘いあわせのうえ是非ご参加ください。

日程 五月二十九日(土) 一時三十分～
五月三十日(日) 九時五十分～
※感染状況によって変更する場合もございます。



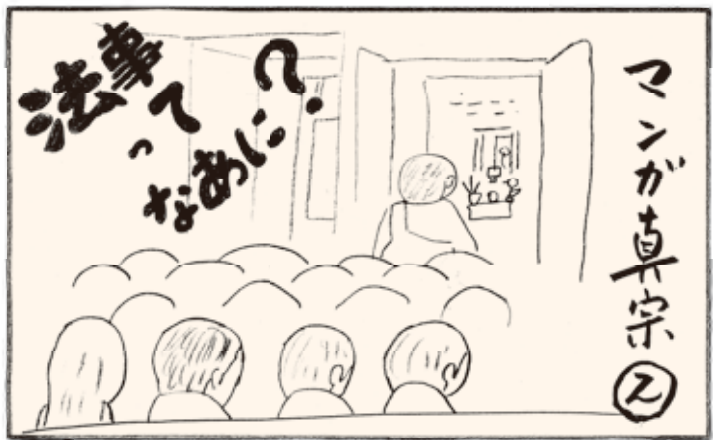
ご報告

先般、ご門徒の皆様各位にお知らせ致しました当院元会計による不正着服の件で、関係する皆様には多大なるご心配と不快な思いをおかけいたしましたことに、誠に申し訳なく、深くお詫び申し上げます。

今後は信頼回復のために、更に努力してまいりたいと存じますので、変わらぬご支援を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

さて、刑事事件につきましては、本年二月十七日起訴、近日中に判決が下されます。民事訴訟についても令和二年十月一日の裁判により全面的に罪を認め、横領金額二千三百九十四万四千円について、弁済の確約を同年十月二十四日決定しておりますのでご報告させていただきます。

二〇二二年三月二十二日 真宗大谷派 旭川別院 以上



法あれ 仏これ

道内御法話巡り

きらい



滝川市
真宗大谷派願成寺住職

泉 敬之

私はすぐに人を嫌ってしまします。褒めてくれる人は好きですが、自分の事を悪く言う人は嫌いです。その事について少し書かせていただきます。

昔、大好きな先生がいました。その先生は北海道のあるお寺に布教師として来られました。お話を聞いていると、先生が来てくださった方々への感謝の言葉に涙が自然と出てきました。その日から私は先生のファンになりました。それから数年後、私は大学生になり京都の大谷大学で親鸞さんの教えを学びました。その間に先生と再会する事ができました。京都に岡崎別院というお寺があります。そこに先生が来られるという噂を聞きつけ、お会いするためにウキウキしながら岡崎別院へ向かいました。再会した先生に、北海道で一度お会いした事とお話に感動した事を伝えました。すると先生が主催する法話会に誘ってくださいました。「案内を送るから」と、必要な事をノートに書くように言われました。私が喜んで記入していると、先生は私の字を見

てこう言いました。「あんた字い下手やな。坊さんになるんやったら、字練習せなアカン」と。数年温めてきた好きという気持ちがパリーンと割れ、嫌いという感情が湧き出てきました。

「都合」です。自分の都合によつて敵か味方か分別し、好きな人と嫌いな人を分けるのです。私以外の人を「えらび、きらい、みすてる」のです。そのような私と正反対の道を行くのが「えらばず、きらず、みすてず」の阿彌陀様です。「ああそうだな」と南無阿彌陀仏が聞こえた時、私とは正反対の道をいたただくのです。好きか嫌いかでしか人を見る事ができない、狭い世界を生きる私に、好きも嫌いもない広い世界を教えてください。大谷大学の先生がおっしゃった言葉が耳に残っています。「好きな人も、嫌いな人も、そんな人おらんやぞ」

在家報恩講のご案内

今年度も六月に在家報恩講を勤めさせて頂きたいと思ひます。「在家」とは皆様の各ご家庭のことです。「報恩講」とは親鸞聖人の遺された教えをとともに頂き、親・子・孫と相続して聞かせて頂く大切な仏事です。ぜひ勤めて頂きますようお願い致します。

〇期間
六月一日～三十日迄
(日時につきましては、事前に郵便にてご連絡させて頂きます)

〇お荘厳
(おかざりするもの)
・華束(白のお餅)・打敷(三角形の金襴の布)・朱羅ソク(赤ローソク)

※この在家報恩講中の月命日のお参りはお休みとさせて頂きます。

・六月にご法事等を予定のご門徒様は、五月十五日までに別院にご連絡の上、ご調整願ひいます。

「初心のつどい」のご案内

今年度の初心のつどいを左記の日程で開講いたします。身近な仏事・お勤めなどに関心のある方の参加をお待ちしています。

記

日時	毎月十三日(年八回) 午後一時より三時まで
場所	旭川別院本堂(冬期は一階広間になる場合あり)
内容	前半はお勤めの練習・お内仏のお給仕。お釈迦様、親鸞様の教えなど・質疑応答、後半は御輪番の御法話。
持ち物	念珠・勤行本(貸し出し可)
会費	無料・会員制ではありませんのでどなたでもご参加ください。
開催月	四月・五月・七月・九月・十月・十二月・二月・三月(八回)
※継続される方も大歓迎です。 ※コロナウイルス感染防止のため、やむを得ず中止する場合は別院ロビーに掲示します。詳細はお寺(旭二二四〇九)までご連絡下さい。	



令和3年3月

別院子ども会

新型コロナウイルスの関係で長いこと、子供会が中止になっていました。ですが、今年度4月ごろよりこれまで同様、感染症対策を徹底しつつ、規模は大小ありますが、旭川別院子子供会を再開したいと思います。もう一度、お御堂に元気いっぱいの子供達の声や活気が溢れる日を楽しんでいます。



幼稚園型認定こども園 旭川別院附属 大谷さくら幼稚園

旭川別院附属大谷さくら幼稚園便り

今年の冬は積雪量が多く、子ども達は大雪の杜やお寺の境内、中庭で冬ならではの遊びを思いきり楽しみました。今年度は休園が始まり、行事の変更が多くありました。幼稚園では新しい生活様式を取り入れて保育をしてきました。健康観察など保護者の方々に協力していただき、子ども達は元気いっぱい幼稚園で過ごす事が出来ました。三月二十日は卒園式です。心を込めて年長きりん組の子ども達を送り出します。

冬の遊び

自然豊かな恵まれた環境の中、雪、氷、雪の結晶、気温の低さ等、様々な冬の現象に触れ、感覚や不思議を、遊びを通して感じる事が出来ました。身支度では子ども自身が「自分でしよう」という気持ちを大切に、見守っています。



0歳児ひよこ組はそりでお散歩



お寺の境内は、雪のジャングルです！



森の中のフカフカの雪、木々から落ちる雪に自然の力を感じます。

季節を感じる食育

アイスクリュー作り
①牛乳、砂糖、生クリームを袋に入れ、塩と雪を入れたミルク缶に入れる。
②雪の上で沢山転がす。
③美味しいアイスクリューの出来上がり！



お正月メニュー
ちらし寿司、黒豆、栗きんとん、なます、お吸い物(羽子板浦餅入り)のみかん



ひな祭り給食
鯉、枝豆、卵の入った彩の良ひし形ご飯



小学校との交流

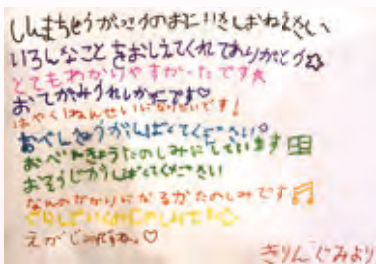
今年度は実際に小学校に行き、学校内を見学したり、小学生や先生と交流することが出来ませんでした。年長きりん組の子ども達と小学校の話をすることで、色々な疑問が出てきました。そこで近くの新町小学校にお手紙を届けることにしました。

子ども達の質問は「小学校は絵本の部屋がありますか？」「階段は何段ありますか？」「給食はおいしいですか？」等です。6年生のお兄さんお姉さんから、可愛らしいイラストが沢山描かれた心温まるお返事が届きました。卒業した子ども達から、「パパゼリーはまだ食べていますか？」と質問がありました。現在も幼稚園では1日に一粒いただいています。

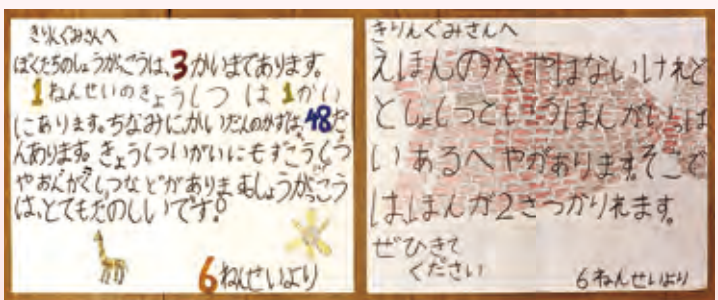
お返事を小学校に届けました。

子ども達の心の中にあつた小学校という新しい環境への不安が減り、学校に行くのが楽しくなりました！と話す子ども達です。

来年度も小学校との交流を様々な形で続けていきたいと思っています。



感謝の気持ちを込めたお返事



6年生からのお返事。気持ちが込められているのが伝わります。

節分

心の中の良くない鬼を追いつくそうと、元氣よく始まった豆まき。本物の赤鬼、青鬼の登場に、驚いて涙しながら「おににはそと」と鬼を振り回して、鬼に豆をまきました。皆の強い心に鬼は退散。悪い鬼はいなくなり、穏やかな春が訪れることになりました。



ご門徒の声

門徒
飛谷 和恵



年号が令和になり、次女の初盆に友人からお参りしたいと連絡が入り、主人に「一緒にお寺へ行く？」と伝え、と、「行かない」と言い動かない。月に二回は寺に通っていたのに、突然閉じこもりがはじまった。他の会の会合も出けなくなり、朝の目覚めも時間はまちまちになり、動かないからお腹もすかない。食べる量がへってくるので、「身が保たないよ」と言う、「いづれ死ぬ身だから」と言う。夕食にビールは忘れずに飲んだけれど、他の記憶は少しずつ消えていった。

昼すぎても起きないので、声をかけると返事はして。夕ぐれになり、もう夜になるからと再び声をかけると無言。近づいてみたら『いのち』が消えていた。

「死んだら寺で葬式を」と常に言っていたので連絡する。親しいご門徒の方々が集まって、お経を称え送っていただけで、本当にありがたいうことでした。四十九日に子供たちと法要して、納骨するつもりが、集まれなくなり家で法要してお内仏の横にお骨は安置。急に寂寥感におそわれたとき、お骨があったので救われ、記憶の中で心配を感じながら考

えると、一緒に精一杯生きていた時間があったことが、良い人生であったと思えてなりません。

うどんげ

四月八日は花祭り、お釈迦様の誕生日です。私の誕生日は秋ですが、近くなると思う事があります。

「天上天下唯我独尊」多くの人が聞いた事のある言葉だと思えます。

娑婆では、「全宇宙の中で、自分が一番偉い」という傲慢な意味でとられる事が多いですが、この「唯我独尊」は、人と比べて優秀を述べるものではなく「無条件に生きているだけで尊い」という意味だと教わりました。

私がまだ若い頃、よく母から笑いながら聞かされた話があります。「私のお腹の中の居心地がとて良かったのか、貴方はなかなか出てこなかったの、出産には苦労したんだよ」とその話を言われても、特別何を感じる事も無く、ひたすら自分の都合の良い事を最優先していました。

今になり、母の話は「ただ我がひとりとして尊し」だと思いました。

この言葉は、子がこの世に産まれてくる為に母が十月十日お腹の中で守り、例え自分の命を落とす事があるうと我が子を守りたい。顔を見て抱きしめたい。子の無事を唯願う。無条件に命をかけてくれた事だったのだと。

誕生日とは色々な縁に支えられ、人との繋がりを生き、本当に思っている人が見えてくる日。その人達に感謝する日であると感じています。

井畑毅俊

真宗大谷派 旭川別院

歴史ある本来の姿での儀式

旭川別院を会場とした葬儀が執り行えるよう準備を致しました。亡き故人とお別れを告げるだけの告別式ではなく、故人との繋がりを大切に、仏教本来の儀式に基づいた葬儀です。どうぞご利用下さい。



真宗本来の葬儀壇

大谷ホールは、大きな会場で設備も豊富に備わっております。小規模でなくとも野卓でお葬式をされた方は是非ご利用ください。



使用料 (祭壇・会場費込)

- 各広間……………100,000円 (税込)
- 大谷ホール……………150,000円 (税込)

※詳細は別院迄 TEL 0166-22-2409